

IEEE Tokyo Section Inter Branch Meeting報告書

東京電機大学 Student Branch 松本良平、丸屋徹

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス

開催日時：2006年10月21日（土）15:00～18:00

参加人数：12人

参加ブランチ：6大学（東京工業大学、横浜国立大学、東京大学、
武蔵工業大学、慶應義塾大学、東京電機大学）

IEEE Tokyo Section Inter Branch Meeting報告書

開催場所：東京工業大学 大岡山キャンパス

開催日時：2006年10月21日（土）15:00～18:00

参加人数：12人（電機大学からは松本、丸屋が参加）

参加ブランチ：6大学（東京工業大学、横浜国立大学、東京大学、武蔵工業大学、慶應義塾大学、東京電機大学）

<会議内容>

1. 東京工業大学SB counselor 西原先生より挨拶



2. 参加者の自己紹介

各大学の参加者が自己紹介をした。

3. 各ブランチの紹介

① 東京電機大学

- ・昨年、東京電機大学Student Branchが設立されたことに伴い設立式を主催した。



- ・会社見学会、修士論文賞を設けた。

質問：工場見学についてどのように企業にお願いしたか。他の大学からの参加もできるのか。



回答：先生を通して企業に連絡した。その後は、学生中心で計画し、企業とのやり取りをした。東京電機大学学生支部が設立したばかりで会員が少ないので、まず我々のブランチの会員増加を目的としている。今後は、他大学の参加も視野に入れていきたいと考えている。

② 東京工業大学

- ・ペーパーコンテストを行った。（参加はまだ間に合う。）

・英語での発表であったため、わかりにくかった部分については懇親会で『GOLD』について質問した。

③ 横浜国立大学

- ・招待公演、姉妹ブランチと交流し活動した。

・勧誘は、研究室に配属された学部4年生にIEEEの会員になってもらい、その友人を勧誘した。



④ 東京大学

- ・学部4年生以上を対象に呼びかけをした。

- ・1、2年生で学生支部に入ってもらってもメリットがないのでは。

(理由：1、2年生では学会に参加することができないから)



⑤ 武蔵工業大学

- ・学生支部の人数が10人程度。
- ・メーリングリスト、ホームページなどを作成し、学生支部のベースラインを築く予定。



⑥ 慶應義塾大学

- ・学生主催のイベントができていない。どのようにして会員を増加していくかが課題である。



4. 西原先生よりIEEEの紹介

現在の会員数や学生会員の数、IEEEに入会したときのメリット、コンテンツなどの紹介。



5. 懇親会

会食しながら、親睦を深めた。記念撮影などをし、最後には強い絆が生まれた。また、11月18日に名古屋大学で開催される『IEEEリーダーシップワークショップ』について話し合った。



<会議に参加して感じたこと>

- 他大学の学生と交流することができ刺激になった。
- 英語での話し合いや紹介等が行われた場面もあり、もう少し英語ができればもっと交流が深められたと思う。
- 設立したばかりということもあって、東京電機大学学生支部が最も活発的に活動を行っていたと感じた。
- 各ブランチで会員数の増加が今後の課題とされている。我々も会員数増加に向けて企画の提案、または運営をさらに活発に行っていかなければならない。